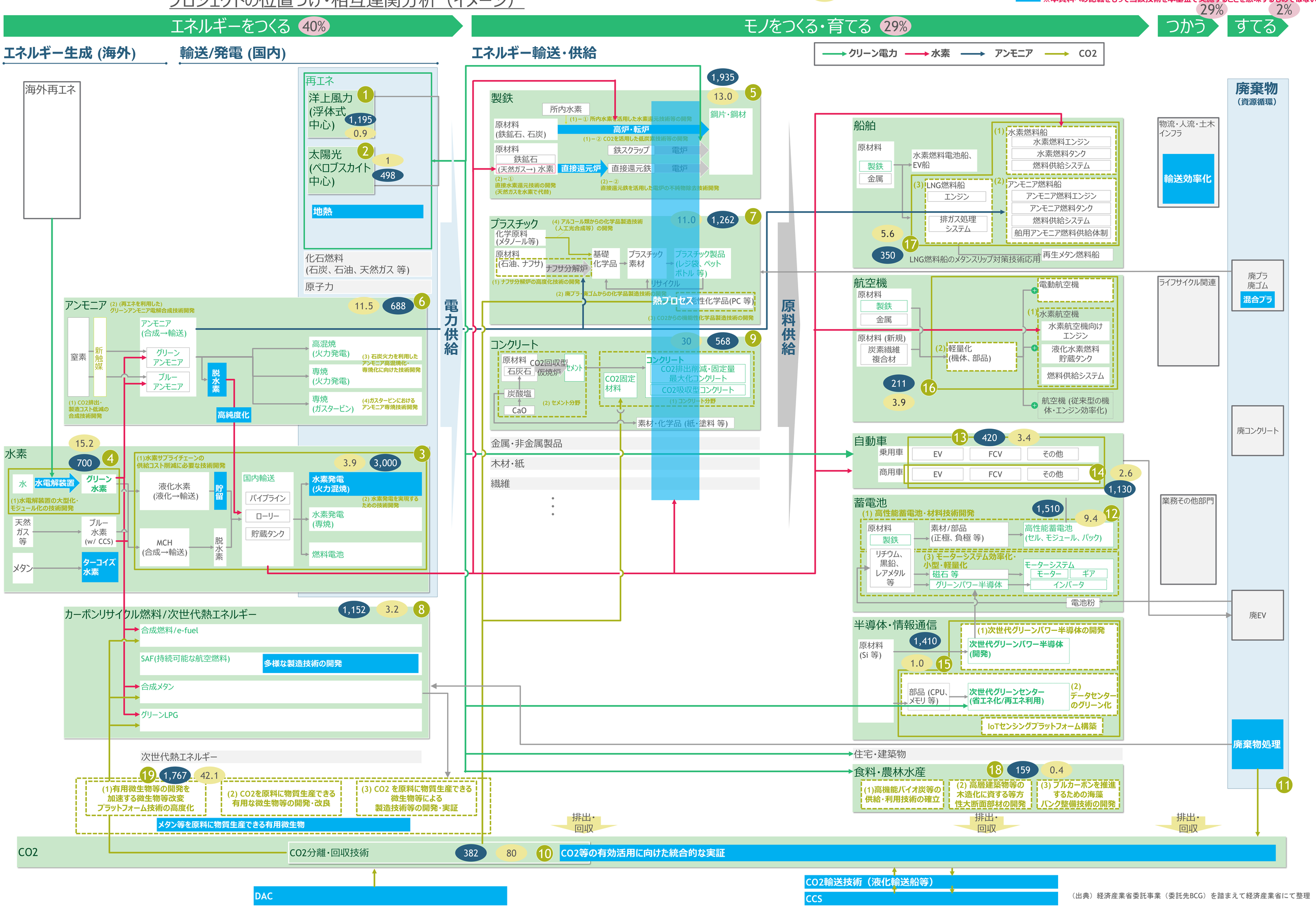
産業全体を俯瞰した視点での、各技術/プロジェクトの位置付け・相互連関分析

プロジェクトの位置づけ・相互連関分析（イメージ）

xx：GI基金における予算規模(億円、2023.1時点)　xx：日本の全CO2排出量に占める割合(2018)

xx：CO2削減効果 (億t、2050年、世界)　xx：今後の取組が想定されうる技術の例

※本資料への記載をもって当該技術を本基金で実施することを意味するものではない



（出典）経済産業省委託事業（委託先BCG）を踏まえて経済産業省にて整理